

# 隊員の声

防衛医科大学 医学科

私は、平成31年4月、防衛医科大学に入校しました。高校時代、将来は医師として一人でも多くの人を救いたいと考えていましたが、被災し負傷した人々などに適切な医療を届ける医師たる自衛官を育成する防衛医科大学を知り、興味を持つようになりました。元々自衛隊には「最後の砦」として重要な役割を担うようなイメージを持っており、そこに自分が貢献し、国際的な医療活動もしてみたいと思うようになります。入校を決意しました。

## 「防衛医科大学 ならではの教育」

防衛医科大学 医学科 3年

こばやし りゅうき  
**小林 龍幸**



31年4月入校

### Profile

- 【入隊動機】「最後の砦」のような重要な役割である自衛隊に自分が貢献し、国際的な医療活動にも携わりたいと考えたため
- 【目標】医師としてそして自衛官として一人前になれるよう、一生懸命励んでいきたい
- 【出身校】立命館慶祥高等学校

われませす。訓練は多岐にわたります。訓練は忙しいですが、その内容はどれも興味深く、一般の大学で得難い経験や教訓が得られるものばかりです。その中でも全く泳げなかった私が、訓練を重ねて不安を乗り越え、4kmを泳ぎきれたことは、とても良い経験になり、自信に繋がりました。

また、私は入校当初、常に気負っていました。忙しい学生生活を送る中で、一生懸命やる時と休息の時のメリハリがつけられるようになったのも良かったことの一つです。

防衛医科大学の魅力は、医学生であると同時に団結を重んじる自衛隊員であるため、同期を大切にし、心から信頼できる仲間が得られるということです。この強い絆は、在学中のみならず、卒業後もお互いを切磋琢磨し成長させる心強いものです。また、本校では、他の医学部では学ぶことのできない自衛隊

ならではの医療を学ぶ授業もあります。訓練では自衛官として部隊を指揮することも習得します。3年生になり、医学の勉強も臨床で扱う内容に近づきました。まだまだ修練は続きますが、医師としても自衛官としても早く一人前になれるよう、これからも一生懸命励んでいこうと思います。

最後に、一人でも多くの方が防衛医科大学に興味を持ち、本校に入校してくれる北海道出身者が増えてくれると嬉しいですね。



【課外も講義内容について討論】  
(右が本人)

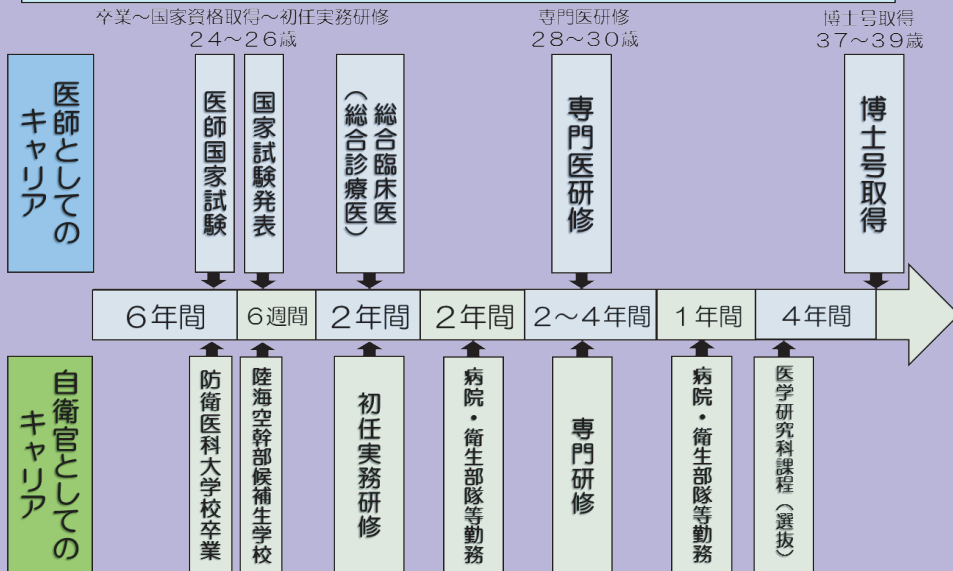


【信頼できる仲間と共に】  
(左から2人目が本人)

## 防衛医科大学「医学科」卒業後のキャリアパスの一例

防衛医科大学は、学費無料のほか、衣・食・住が無料で提供されます。さらに、特別職国家公務員の身分のため、学生手当月額117,000円と期末手当年2回支給され、経済的な負担がなく、充実した就学環境で医師を目指す事ができます。

※卒業後勤務年数が9年間を満たさないで離職する場合は、卒業までの経費を償還しなければなりません。



### 幅広い活躍フィールド

全国の自衛隊病院・衛生部隊での勤務のほか、国内外で幹部自衛官たる医師として活躍できます。



熊本地震に係る災害派遣 (2016年4~5月)



ネパールでの国際緊急援助活動 (2015年5月)